

第70回全日本中学校通信陸上競技大会福岡県大会要項  
(第51回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会)

1. 主 旨 各都道府県にて実施された陸上競技の競技会の記録を集計し種目ごとに全国順位を付ける通信競技大会とすることで、より多くの中学生に陸上競技の楽しさや、目標に向かって取り組むことの重要性を学ぶ機会とする。また、本大会は全日本中学校陸上競技選手権大会の都道府県予選会としても位置づけるものとする。
2. 主 催 (公財)日本陸上競技連盟・(一財)福岡陸上競技協会・(財)日本中学校体育連盟  
福岡県中学校体育連盟・北九州市中学校体育連盟・福岡県教育委員会 北九州市教育委員会
3. 後 援 NHK
4. 期 日 令和6年7月6日(土) 9時30分競技開始 7月7日(日) 9時30分競技開始
5. 会 場 黒崎播磨陸上競技場 in HONJO (北九州市立本城陸上競技場)
6. 大会運営 本大会は、感染症予防に努めつつ、有観客で大会を実施する。各学校やチームにおいては、顧問や監督が責任をもってチーム生徒の体調管理の確認を行っておくこと。保護者や一般観客についても、必ず来場当日の体調を確認しておくこと。また、会場での消毒や、感染症対策に関するお願いについて協力すること。
7. 競技種目 (1) 男子(16種目)  
[学年種目] 1年100m, 2年100m, 3年100m  
[共通種目] 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m, 110mH,  
4×100mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 砲丸投(5.0kg), 円盤投(1.5kg)  
四種競技(①110mH②砲丸投(4.0kg)③走高跳④400m)  
(2) 女子(12種目)  
[学年種目] 1年100m, 2年100m, 3年100m  
[共通種目] 200m, 800m, 1500m, 100mH, 4×100mリレー,  
走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 砲丸投, 円盤投(1.0kg)  
四種競技(①100mH②走高跳③砲丸投④200m)  
※下線の引いてある種目は1日目に行う。なみ線の引いてある種目は1日目に予選のみを行う。
8. 競技規定 (1) 2024年日本陸上競技連盟規則及び本大会要項を適用する。  
(2) トラック競技は、写真判定とする。
9. 参加資格 (1) 福岡県中学校体育連盟に加盟する中学校の生徒で、学校長が参加を認めた者。  
福岡県中学校体育連盟に承認されたクラブチームの中学生。  
(2) 全国中学校体育大会に参加を認める「参加資格の特例」に該当する者。  
(3) 5月末日までに、日本陸上競技連盟に登録を申請し、承認されている者。  
(4) 健康診断に於いて異常なしと判断され、日常の活動状況から本大会への出場に差し支えなしと判断し、保護者が承諾した者。
10. 参加制限 (1) 令和5年3月以降の公認の競技会で、参加標準記録を突破した者に出場権を与える。ただし、リレーについては、下記の①～④のいずれかに該当するチームのみ出場権を与える。  
① 令和6年4月1日以降の競技会で参加標準記録を突破したチーム。  
② 令和5年度の福岡県中学校新人陸上競技大会の8位以内のチーム。  
③ 令和5年度の福岡県中学校新人陸上競技大会及び各地区大会で参加標準記録を突破したチーム。  
④ クラブチームで出場する場合、全国大会への出場権を得るためには、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」又は登録メンバー全員が同一学校に在籍していること。  
(2) 前年度の福岡県中学校新人陸上競技大会の同一種目で8位以内の者に出場権を与える。  
※ ハードルは同一種目と考える。  
(3) 本年度の中体連の指定する大会で、参加標準記録を突破した者に出場権を与える。  
※ 筑後地区中学陸上(郡市大会を含む)、嘉飯地区夏季総体、京築地区中学陸上、筑前地区各区大会のみ。ただし、メ切り以前に開催された大会に限る。  
(4) 本年度の福岡県中学選手権の四種競技の8位以内の者に出場権を与える。  
(5) 1人2種目以内とする。(ただし、リレーはのぞく)  
(6) 学年別種目は該当学年の生徒に限る。  
(7) 学校・チームごとの人数制限はしない。リレーは各学校1チーム以内。  
(8) 各学校・チームとも、参加標準記録を突破した選手の有無にかかわらず、男女各2名を1種目にだけ監督推薦で出場させることができる。(リレーをのぞく)
11. 競技方法 (1) 個人競技として行う。

(2) 決勝記録の第8位までを、日本陸上競技連盟に報告する。

12. 表彰

各種目の8位(リレーは3位)までに賞状を授与する。

賞状については、各学校の顧問が、本部にて受け取る。(全国ランキング入賞者の賞状は廃止、オンラインからの取得)

13. 競技会の運営について

- (1) トラック競技では、次ラウンドへの資格決定は着順法を原則とし、ベストタイムより若干名を選出する方法を加味する。ただし、800m以上のレースについては、タイムレース決勝とする場合がある。リレーについては、参加チーム多数の時には、タイムにより上位8チームの選出を行う。
- (2) ハードル競技の規格は、次の通りとする。  
男子 110mH 個数 10 台 高さ 0.914m インターバル 13.72m-9.14m...14.02m  
女子 100mH 個数 10 台 高さ 0.762m インターバル 13.00m-8.00m...15.00m
- (3) 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は次のようにする。  
[走高跳] 男子 1.55m-(5cm)-1.70m-(3cm)- (四種) 1.35m-(5cm)-1.65m-(3cm)-  
女子 1.35m-(5cm)-1.45m-(3cm)- (四種) 1.15m-(5cm)-1.40m-(3cm)-  
[棒高跳] 男子 2.20m-(10cm)-3.00m-(5cm)-  
女子 1.60m-(10cm)-2.20m-(5cm)-  
当日の天候等により、審判長の判断で、試技の高さを変更する可能性がある。  
男子女子同時に競技を実施する。
- (4) 招集は、トラック競技では30分前より15分前まで、フィールド競技では50分前より30分前までとする。四種競技は、最初の種目のみ招集を受ければよい。
- (5) スパイクのピン長さは9mm以内とする。(ただし、走高跳は12mm以内)
- (6) 男子砲丸投の重さは5.0kgとする。(ただし、四種競技は4.0kg)
- (7) 男子円盤投の重さは1.5kg、女子円盤投の重さは1.0kgとする。

14. 標準記録

(男子)

(女子)

種目	参加標準記録	全国標準記録
1年 100m	13"34(13"1)	11"20
2年 100m	12"34(12"1)	11"20
3年 100m	11"80(11"5)	11"20
共通 200m	24"54(24"3)	22"75
" 400m	56"94(56"8)	51"60
" 800m	2' 11"00	2' 00"50
" 1500m	4' 28"00	4' 08"50
" 3000m	9' 40"00	8' 57"00
" 110mH	17"74(17"5)	15"00
" 走高跳	1m63	1m85
" 棒高跳	2m40	4m00
" 走幅跳	5m75	6m55
" 砲丸投	10m00(5.0kg) 11m50(4.0kg)	13m00(5.0kg)
" 円盤投	18m00(1.5kg)	
" 四種	下表参照	2500点
" 4×100mR	48"00(47"8)	1 位

種目	参加標準記録	全国標準記録
1年 100m	14"44(14"2)	12"53
2年 100m	13"74(13"5)	12"53
3年 100m	13"34(13"1)	12"53
共通 200m	28"04(27"8)	25"80
" 800m	2' 27"50	2' 16"50
" 1500m	5' 04"00	4' 38"00
" 100mH	17"04(16"8)	14"80
" 走高跳	1m45	1m60
" 棒高跳	1m80	
" 走幅跳	4m70	5m45
" 砲丸投	10m00	12m50
" 円盤投	18m00(1.0kg)	
" 四種	下表参照	2630点
" 4×100mR	54"14(54"0)	1 位

リレーについては、本年度4月1日以降の記録で標準記録を突破したチーム。

※ 四種競技の場合は、下の表の4種目中2種目以上突破した者とする。

男子 四種競技				女子 四種競技			
110mH	砲丸投	走高跳	400m	100mH	走高跳	砲丸投	200m
18"44 (18"2)	9m80(5.0kg) 11m00(4.0kg)	1m57	57"64 (57"5)	18"44 (18"2)	1m38	9m50	28"74 (28"5)

※ ( )内は、手動計時。

※ 追い風参考記録は、全国標準記録については認められないが、参加標準記録については認める。

※ アンダーラインの種目は、本年度変更されたもの。

※ 男子四種競技の砲丸投は、4.0kgで実施する。

15. 申込み

(1) 日本陸連エントリーシステム(下記アドレス参照)でのエントリーとする。

<https://athleticfamily.jaaf.or.jp/user/login/>

※大会エントリーを行うには、団体管理者がログインして操作する必要がある。

- (2) 監督推薦による申し込みは、大会名を入力する箇所に、「推薦」と入力すること。(大会名は入力しない)  
 ※ベスト記録は入力すること。(プログラム編成のため)
- (3) プログラム編成のため、最高記録(追い風参考記録も有効)は、明記すること。  
 ※標準記録の設定のない種目及び監督推薦の場合は未入力でも差し支えない。
- (4) 申込み〆切：2024年6月20日(木) ※プログラム編成のため、厳守すること！  
 ※四種競技については、四種目とも記録入力が可能のため、「2種目以上入力する」こと。
16. 申込み料  
 申込み料は1種目800円とする。(四種競技は1,500円)  
 リレーについては1チーム2,000円。  
 本大会は、6月27日(木)までに下記の口座に振り込むこと。振り込みがない場合は、参加を認めない。  
「福岡銀行 大橋支店 (273) ざい 7カカリダ ヨウキョウキキョウカイ 1668711」：入金番号 T7  
 振り込みの際、入金番号、チーム名を記載して振り込むこと。  
 (例：T7テンパイチュウ)  
 また、いかなる場合も、申し込み料は返金しない。
17. 全国大会(全日本中学校陸上競技選手権大会)への出場について  
 (1) 本大会及び福岡県中学校陸上競技大会で全国標準記録を突破した者については、全国大会の出場権を得る。(1人1種目)  
 (2) 四種競技については、6月15～16日の福岡県中学選手権で全国標準記録を突破した者も全国大会の出場権を得る。  
 (3) 男女共通4×100mRについては、本大会の優勝チームが全国大会の出場権を得る。  
 (4) 追い風参考記録は、全国標準記録の対象にならない。
18. その他  
 (1) 競技時間及び注意事項を福岡陸上競技協会のホームページに掲載するので、理解の上参加すること。  
 (2) 推薦選手に限り、当日の選手の変更を認める。ただし、同一種目の変更に限る。  
 また、競技実施当日の朝8時30分までに本部で選手変更の受付処理をしたもののみ、認める。  
※選手変更については、申込時に名簿に記載(他種目にエントリーまたは「補欠選手」)されている選手のみとなる。  
「補欠選手」は、種目に「男子補欠」「女子補欠」を選択できるので、それを入力すること。  
 (3) 競技中に生じた負傷及び疾病については、主催者において応急処置は行うが、それ以後の責任は負わない。主催者は競技者と審判員対象の傷害保険に加入するが、補償はこの保険の規約内容の範囲内とする。  
 (4) 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、福岡県中学校体育連盟の個人情報保護方針に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報の利用については、プログラムへの氏名・学年の記載、参加資格の確認、電光掲示板への氏名・学年の記載、大会成績(新聞報道・ホームページも含む)の公表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。  
 (5) 大会の映像は主催者の許可なく第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。  
 (6) AEDについては、本城陸上競技場内事務所に設置している。  
 (7) Jアラート警報時は、試合を一時中断し、屋根のある場所にて安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。

全日本中学校体育連盟：陸上競技大会における、リレー競技の福岡県代表校の決定方法について確認事項

- ① 全日本中学校通信陸上競技大会福岡県大会(以下、通信陸上大会)が、通常通り開催された場合  
 ⇒通信陸上大会の決勝で1位になったチーム  
 ※災害等で、自治体や教育委員会の指示により、参加が不可能なチームがあった場合も、従来通りの決定方法になる。
- ② 災害等で、通信陸上大会が急遽、1日目のみの開催となった場合  
 ⇒1日目の予選のタイムをタイムレース決勝とし、1位のチーム
- ③ 災害等で、通信陸上大会が2日目のみの開催となった場合  
 ⇒1日開催のタイムテーブルに則り、リレー競技がタイムレース決勝となり、1位のチーム
- ④ 災害等で、通信陸上大会が開催できない場合  
 ⇒福岡県中学校総合体育大会陸上競技大会の決勝で1位になったチーム